他地域の気候市民会議の成果例
杉並区気候区民会議の経験を中心に

2024年12月14日（土） 第5回 気候市民会議まつもと

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES） 石川智子

IGES
Institute for Global Environmental Strategies

気候市民会議での「自治体との関係」による分類の試み

市民発の取組の促進を目的として実施

- **松戸市環境未来会議**（2023年10月～12月）

  2024年3月、松戸市が「地球温暖化対策市民行動プラン」として、市民が対策を行うときの参考になるよう公表

- **せんだいゼロカーボン市民会議**（2023年9月～2024年1月）、など

  「脱炭素に向けて一人ひとりができること」、「行動を広めていくための手法」について市民目線で検討・提案

「自治体の政策・施策へのインプット」を目的として実施

- **日野市気候市民会議**（2023年8月～12月）

  市民会議の提案は、第4次温暖化対策実行計画の改定とロードマップ作成へのアイディア出し。実際に反映

- **多摩市気候市民会議**（2023年5月～7月）、など

  市民会議での提言が、「第3次多摩市みどりと環境基本計画」に反映

杉並のケースは、ちょうどこの中間あたり??

杉並区気候区民会議とは

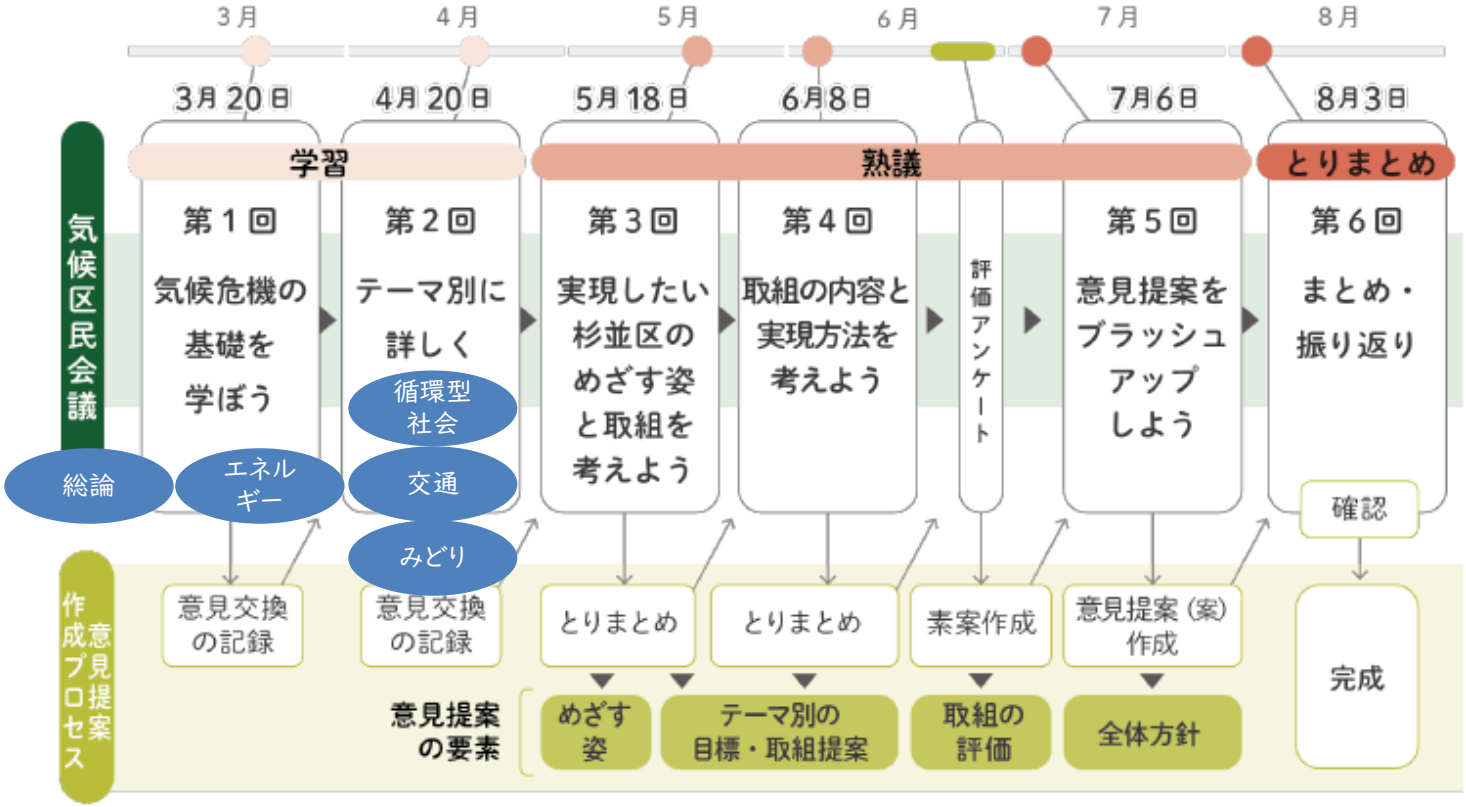
目的：「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、区民の参画による気候変動対策を推進し、一人ひとりが当事者意識を持って具体的な行動につなげていくこと

結果：2024年3月から8月まで、合計6回。気候市民会議メンバー77名。全体33項目の意見提案

インパクト：2024年8月「ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案」を区長に提出。意見提案に対して、区は施策への反映を一つひとつ検討する。この検討結果を、2025年3月に実施するシンポジウムで披露

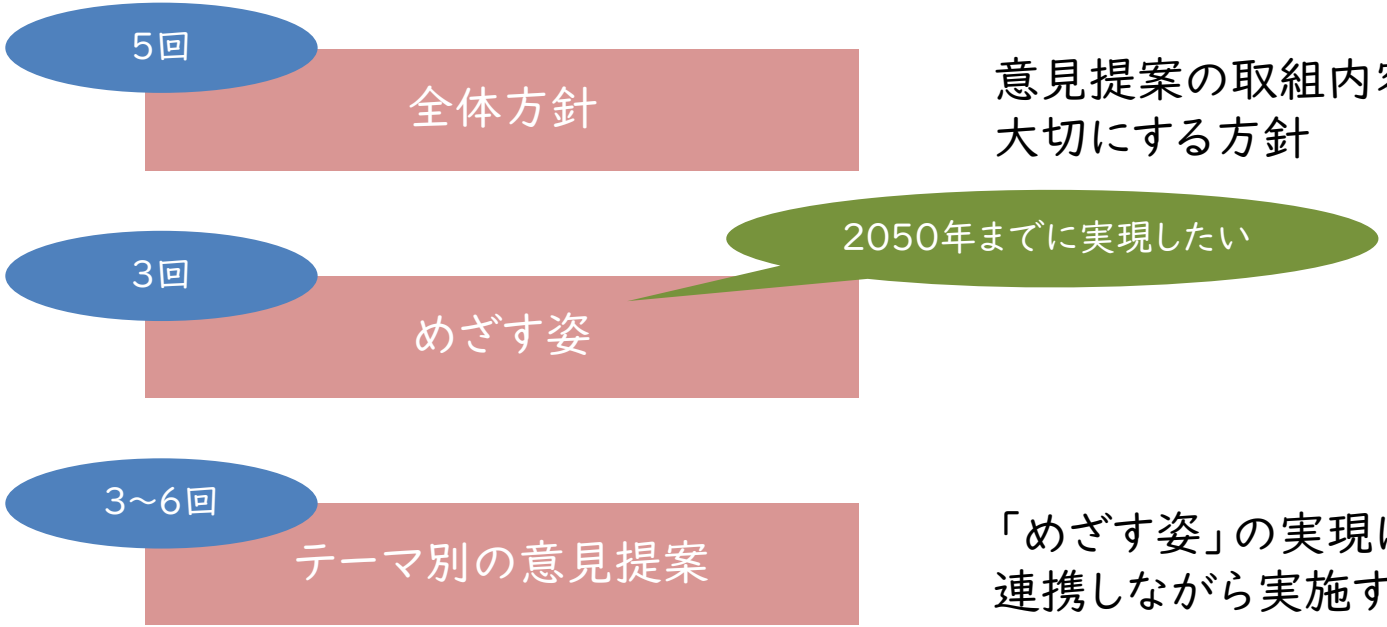
熟議のプロセス｜意見提案までの道のり

SUGINAMI CITIZENS' CLIMATE ASSEMBLY
杉並区気候区民会議



引用：杉並区気候区民会議ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案（2024年8月）

6回の会議のアウトプット ― 意見提案を構成する3つのコンポーネント



意見提案の取組内容を推進していく上で大切にする方針

「めざす姿」の実現に向け、多様な主体が連携しながら実施すべきテーマ別の取組

めざす姿　3回

「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」という杉並区の目指す姿を整理。意見提案は、この目指す姿の実現に向けた取組との位置づけ

- 「環境都市として世界のお手本・モデルになっているまち」
- 「高い環境意識が受け継がれ、行動力のある区民が育つまち」
- 「快適で豊かな脱炭素の暮らしを実現できるまち」

- エネルギー「杉並区でエネルギーをつくり、区内でエネルギーをまかなっているまち」
- 循環型社会「ごみの排出量が最も少なく、暮らしに関わる全てのものが杉並区内で完結する循環システムのあるまち」
- みどり「質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち」
- 交通「だれもが環境にやさしい手段で移動したくなる、多様なモビリティが共存できるまち」

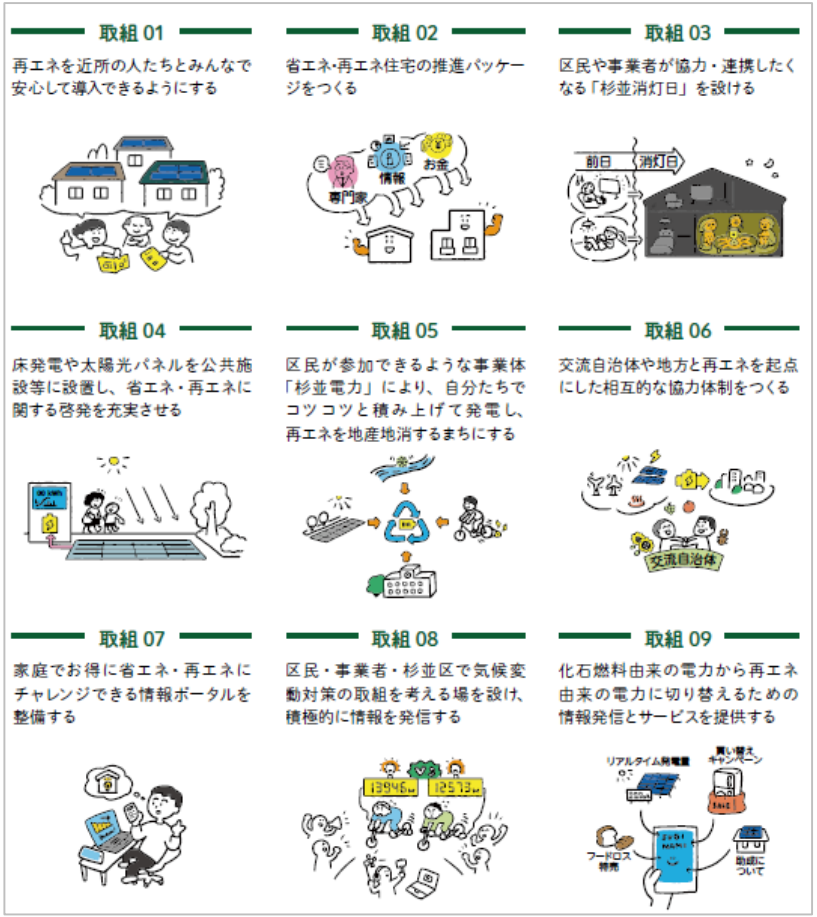
意見提案の概要（1）

3~6回

エネルギー： 全体で9項目

特徴:

- 再エネの促進
- 区民も参加できる「杉並新電力」によるエネルギーの地産地消に向けた取組
- 一人ひとりが生活で使うエネルギーを考えることを後押しする仕組み
- 上記に加え、区全体での省エネ、再エネを進めていく取組など



意見提案の概要（2）

3~6回

循環型社会：全体で8項目

特徴：

- 将来世代に負担をかけない持続的な暮らし
- 個人の生活での取組の後押し
- モノがつくられる過程から変えていくことが大切で、事業者や行政との連携により、仕組みを変えていく積極的な取組など

意見提案の概要（3）

3~6回

みどり：全体で8項目

特徴：

- 住宅地である杉並区での緑の価値
- 気候変動対策としてのみどりの役割（日陰による暑さの軽減、グリーンインフラとして雨水を浸透させるなど）
- みどりを次世代に受け継ぐための適切な維持管理
- みどりの大切さを理解する区民を増やし、地域全体でみどりを守り育てていく仕組みなど

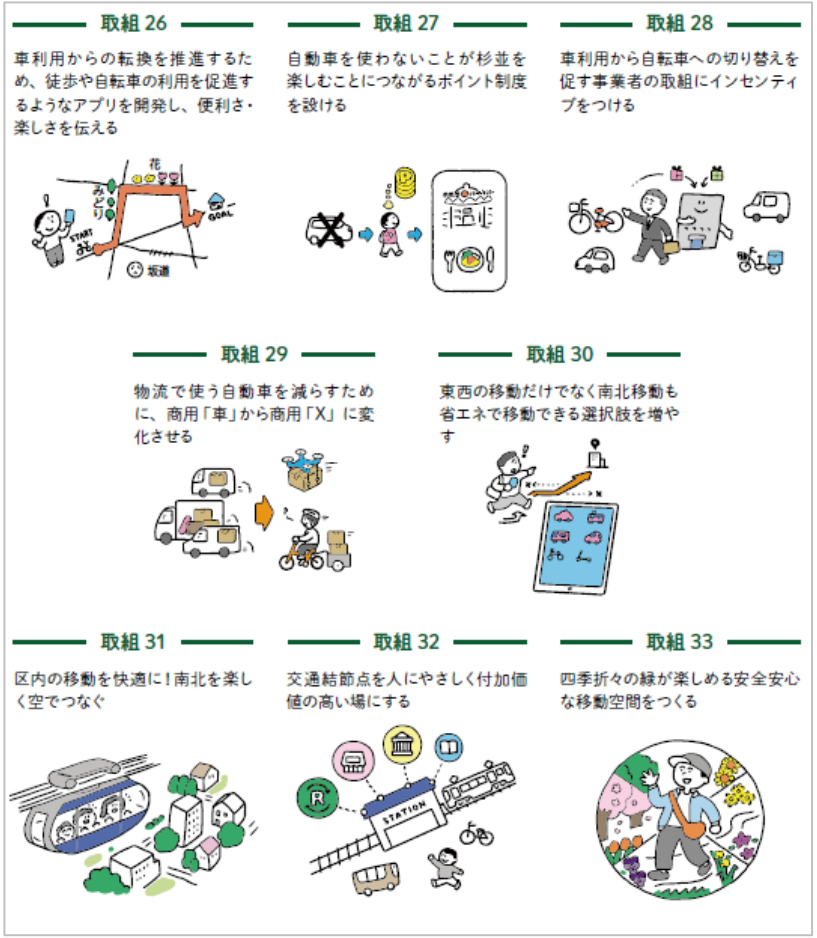
意見提案の概要（4）

3~6回

交通：全体で8項目

特徴：

- 東西移動だけでなく南北移動も便利に！
- 自転車や徒歩など、排出量が少ない手段への切り替え
- 人と環境にやさしい交通システムを築いていくためのしかけや仕組みなど



全体方針

5回

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けて、意見提案の取組内容を推進していく上で大切にする方針

方針1　個人の我慢でなく、社会を大きく変える仕組みを考える
方針2　さまざまな主体が連携し、チカラを出し合う
方針3　みどりや自然を大切にする
方針4　多様な世代が学びあい、将来世代に負担をかけない行動をとる
方針5　地域間の不公平を生まない

杉並区気候区民会議の特徴（若干の個人的考察も含めて）

- 区長の選挙公約による開催。区側のコミットメントが高かった。（例：「学習」段階での専門家の人選は、結果として区からの推薦者が多かった。）
- 「めざす姿」からバックキャストして、「めざす姿」に向けた具体的なメニューが、テーマ別の意見提案との位置づけ。
- 総論の情報提供で指摘のあった社会変革の必要性、ステークホルダー連携、気候正義、世代間公正などを、全体方針として含むことができた。第5回のプログラムの「意見提案へのフィードバック」で、あらためて総論の情報提供を振り返ることができた。
- 区民からの意見提案に対して、区は施策への反映を一つひとつ検討し、この検討結果を、2025年3月に実施するシンポジウムで披露することになっており、この進展に注目